

電気事故防止PR活動 及び 注意事項等

1 電気事故防止PR活動

当社並びに九州電力送配電(株)は、SNS等も活用した電気事故防止PRの充実（過去の災害事例の発信など）や、現場出向時の防護管取付PRの充実などの取組みを行います。

今後とも、感電防止・停電事故防止にご留意くださいますようお願い申し上げます。

危険な現場を発見した場合、注意喚起を実施させていただきます。ご協力いただけない場合は、所轄の労働基準監督署に連絡させていただくことがあります。

※ 危険な現場の例



【足場が高圧線を貫通】



【クレーンが高圧線に接触】

2 注意事項

防護管等が取付てあっても、感電や停電のおそれがあるため、**防護管等に触れたり、足場やクレーン等を接触させないでください。**

足場を組立てられる場合は、防護管（電線）と足場が接触しない状態になるように組立てをお願いします。

また、**作業員が防護管等に触れるおそれがある場合（足場内に防護管取付箇所が貫通している場合等）は、立入禁止措置等を施工いただく必要があります。**



【足場と接触させない】



【立入禁止措置】



3 過去の感電災害事例

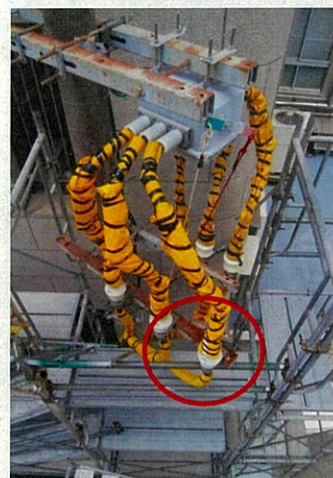
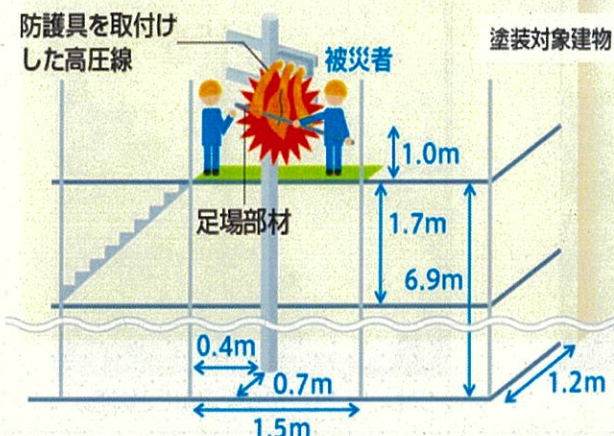
九州電力送配電(株)管内でも、過去に感電災害が発生しており、一部事例を紹介します。

※九州電力送配電(株)のHPで他の事例も紹介していますので、電気事故防止に向けた理解促進としてご活用願います。

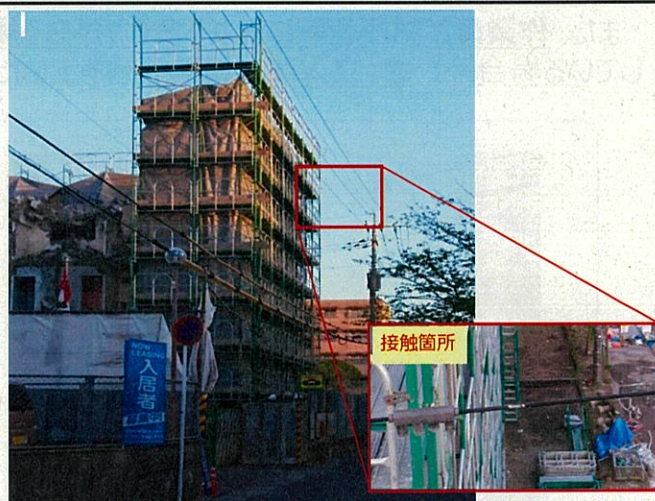
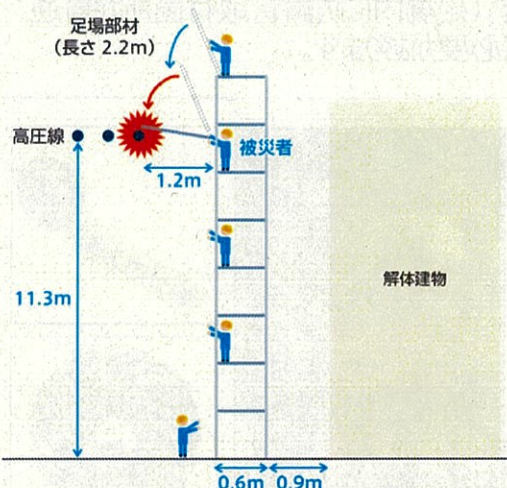
<https://www.kyuden.co.jp/td_supply_accident-prevention_kanden_example_index.html>



発生時期(地区)	被災者(年齢)	事故内容
2019年7月 (鹿児島県鹿児島市)	男性 (20代)	建物塗装用足場の組立作業において、足場部材の受け渡しの際、被災者は高圧線に取付けていた防護具に腕を当て、防護具がめくれたことで露出した充電部と接触し、感電した。



発生時期(地区)	被災者(年齢)	事故内容
2018年4月 (鹿児島県鹿児島市)	男性 (20代)	被災者は住宅解体工事のための足場撤去作業中、足場部材を地上に降ろすため、下段の作業者に渡そうとした際、高圧線に足場部材を接触させ感電負傷した。



建設用防護管取付WEB受付 九州

検索

防護管の取付けには、標準で3週間程度の期間を要します。
取付希望日には余裕を持って、早めにお申込みください。

